

たてしん通信

新春号

014号



たてしんファミリー映画会

12月15日、昨年につき「第4回みんな集まれ！たてしんファミリー映画会」が南総文化ホールにて開催されました。今回はミュージカルコメディアニメ作品「シング ネクストステージ」を午前と午後の2回上映し、約800人の来場者が大画面で迫力のある映画を楽しみました。玄関前でご当地のマスコットキャラクター8体が職員と共にお出迎えとお見送りをし、来場者とふれあったり、写真を撮ったり、子供たちの笑顔とはしゃぐ声でたくさんの思い出を作りました。



2025

『千葉県マスコットキャラクター チーバくん』

『千葉県マスコットキャラクター チーバくん』



令和7(2025)年1月15日



地域と共に、皆様と共に

館山信用金庫

<https://www.shinkin.co.jp/tateyama/>



ちばSDGs
ちばSDGsパートナー 933号



謹賀新年



館山信用金庫
理事長 利田 秀男

皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
当金庫は昭和で60年、平成で30年、令和で7年目となり、3年後の令和10(2028)年10月に創立100周年を迎えます。これもひとえに地域の皆様の暖かいご支援、ご愛顧の賜物と心から感謝申し上げます。

今年の干支は、乙巳(きのとみ)です。「これまでの努力や準備が実を結び始める時期」であり、「脱皮や再生を繰り返しながら成長・発展していく年」とされます。当金庫も「お客さまよし、地域よし、職員よし、金庫よし」の四方よしの経営を推進すると共に、創立100年に向かって地域内の資金循環を拡大し、「地域と共に、皆様と共に」大きく成長・発展する1年とすべく、役職員一丸となって努めてまいります。

結びに、令和7(2025)年が地域の皆様にとりまして、健康で明るい良き年になりますことを心から祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。

館山市・館山商工会議所と包括連携協定を締結

12月18日、当金庫は館山市、館山商工会議所と3者間による包括連携協定を締結しました。長らく物価高や慢性的な人手不足、賃上げなど、中小企業は様々な経営課題に直面しています。これらの経営課題を解決し、地域に活気をもたらし将来に向け豊かで持続可能な地域社会を構築するために、行政・商工会議所・信用金庫が連携し牽引役となるべく、12の協力事項を掲げています。

12の協力事項

1. 起業・創業、事業承継及びデジタル化等経営支援に関する事
2. 企業誘致及び投資促進に関する事
3. 人材の確保・育成及び雇用創出に関する事
4. 販路拡大及びビジネスマッチングの支援に関する事
5. 農林水産業の6次産業化等の振興に関する事
6. 中心市街地活性化及び観光の推進に関する事
7. 移住・定住促進及び子育て支援等に関する事
8. 公的助成・支援制度の金融支援に関する事
9. 災害時における支援に関する事
10. 地域連携に関する事
11. SDGsに関する事
12. その他、3者が協議して必要と認める事項



左から館山商工会議所 安田 信之会頭、館山市 森 正一市長、館山信用金庫 利田 秀男理事長

今後、実務者レベルの連絡会や、トップ同士の意見交換会などを行うとともに、さまざまな施策を実施していくこととしています。



たてしん中小企業景況レポート No.28

令和6年(2024年) 10月～12月

編集・発行：館山信用金庫
支援部
TEL:0470-29-3015



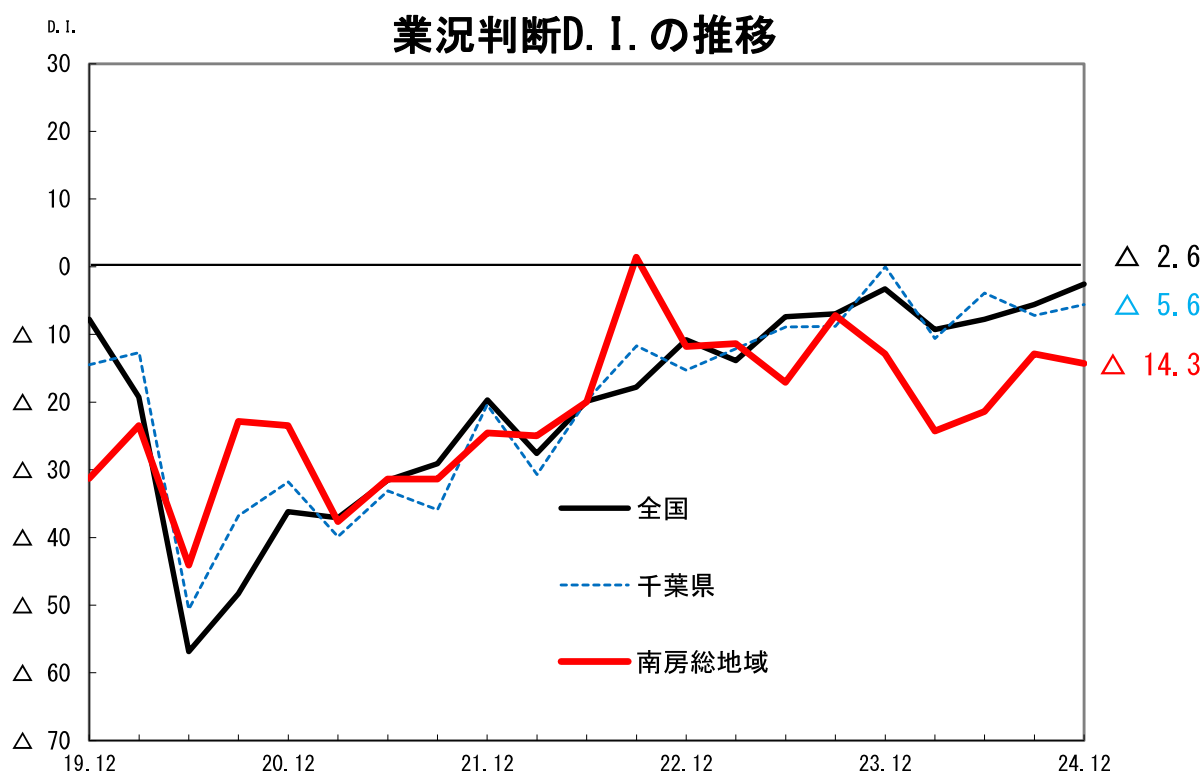
地域と共に、皆様と共に

館山信用金庫

<概況>

令和6年(2024年)10～12月期の全国の業況判断D.I.は $\Delta 2.6$ 、前期に比べ3.0ポイントの上昇となった。

なお、今回の業況判断D. I. は、前回調査時における今期見通し($\Delta 1.9$)を0.7ポイント下回った。 ※業況判断D.I.(「良い」と回答した割合から「悪い」と回答した割合の差、プラスほど良い)

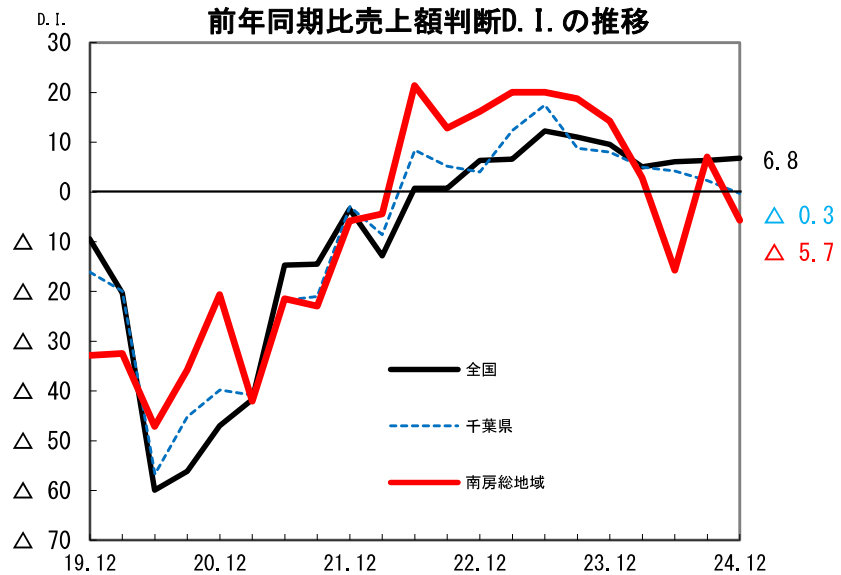


千葉県の業況判断D.I.は $\Delta 5.6$ と、前期に比べ1.6ポイントの上昇となった。
南房総地域の業況判断D.I.は $\Delta 14.3$ と、前期に比べ1.4ポイントの低下となった。

※D.I.とは、Diffusion Indexの略で企業の業況感や人員の過不足などの各種判断を指標化したものです

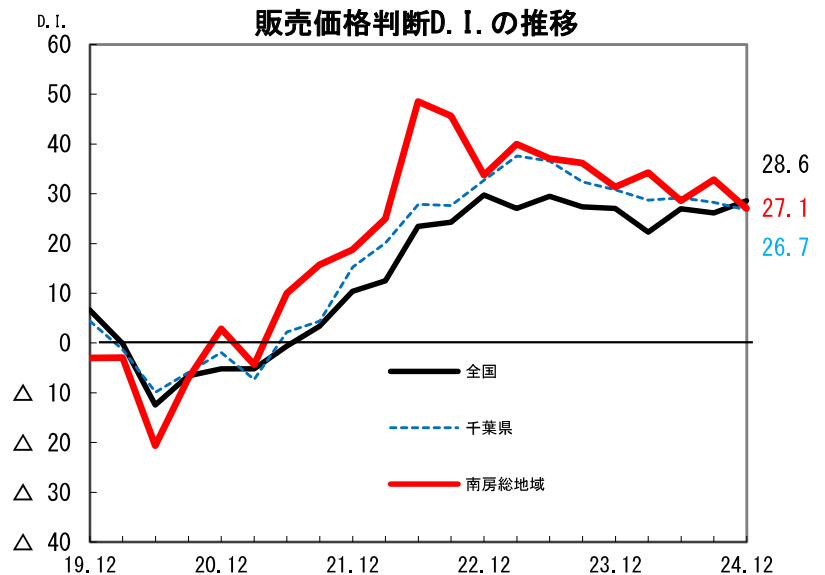
(千葉・南房総)
売上は前年同期比
マイナス水準に

全国の前年同期比売上額
判断D.I.は6.8となった。
南房総地域では、 $\Delta 5.7$ とな
り、千葉県・南房総地域でマ
イナス水準となった。
※売上額判断D.I.（「増加した」と回
答した割合から「減少した」と回答
した割合の差、プラスほど良い）



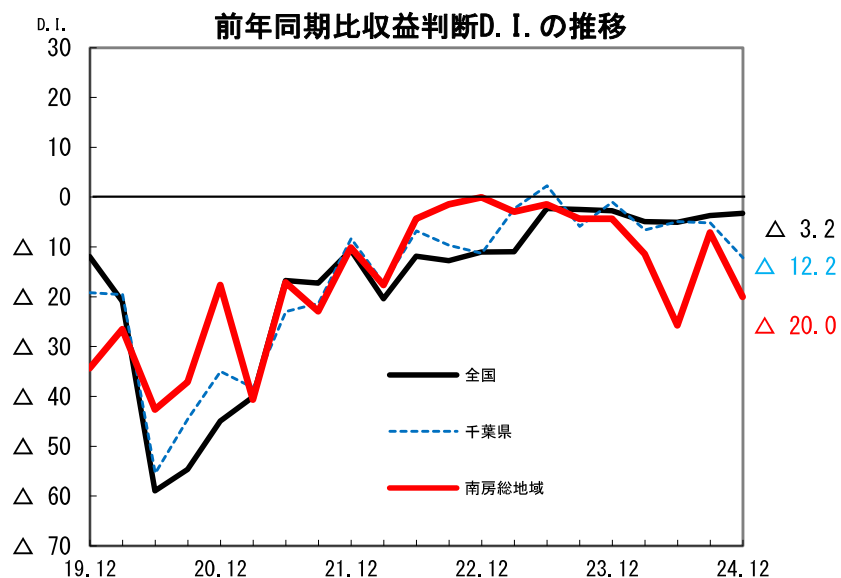
(全国・千葉・南房総)
販売価格は高水準を維持

全国の販売価格判断D.I.は
28.6と前期比2.4ポイント増加
となった。
南房総地域では、27.1と前
期比5.8ポイント低下とな
った。
※販売価格判断D.I.（「上がった」と
回答した割合から「下がった」と回
答した割合の差、プラスほど販売
価格が上昇）



(全国・千葉・南房総)
収益は前年同期比低下

全国の前年同期比収益判
断D.I.は $\Delta 3.2$ と依然としてマ
イナスの水準となった。
南房総地域でも、 $\Delta 20.0$ と
引き続きマイナスの水準と
なった。
※収益判断D.I.（「増加した」と回
答した割合から「減少した」と回答した
割合の差、プラスほど良い）

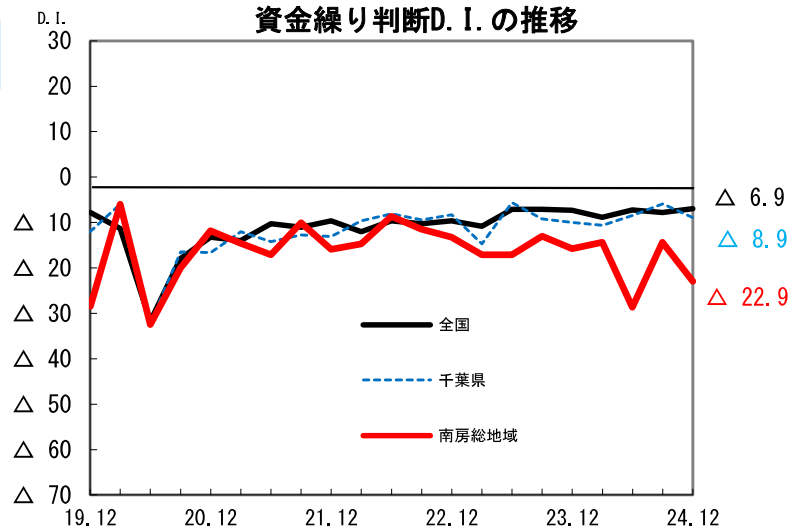


(南房総)
資金繰りは厳しい

全国の資金繰り判断D.I.は
△6.9と前期比0.9ポイント増
加となった。

南房総地域では、△22.9と
前期比8.6ポイントの低下と
なった。

※資金繰り判断D.I.('楽(らく)')と
回答した割合から'厳しい'と回答
した割合の差、プラスほど良い)

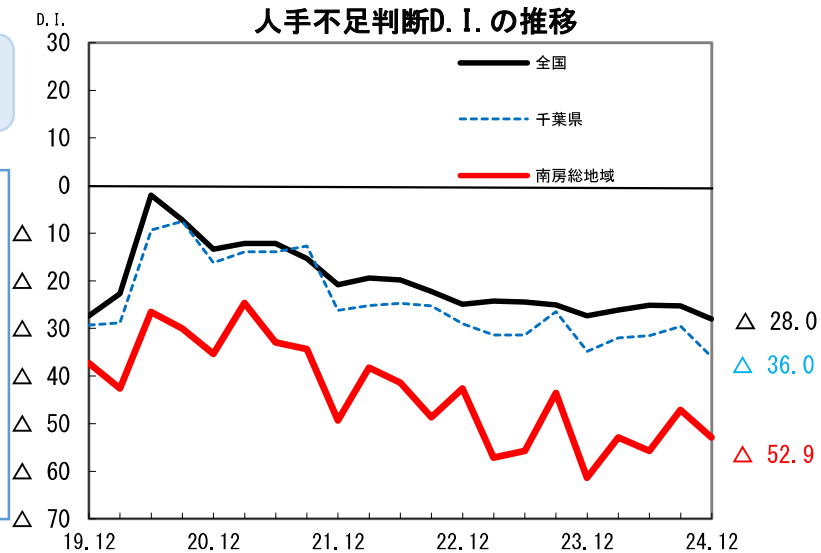


(南房総)
人手不足感は依然として強い

全国の人手過不足判断D.I.
は△28.0と前期比2.8ポイント
拡大し、ほぼ横ばい。

南房総地域では、前期比
5.8ポイント拡大の△52.9と依
然として強い。

※人手過不足判断D.I.('過剰')と回
答した割合から'不足'と回答した
割合の差、マイナスほど人手不足)

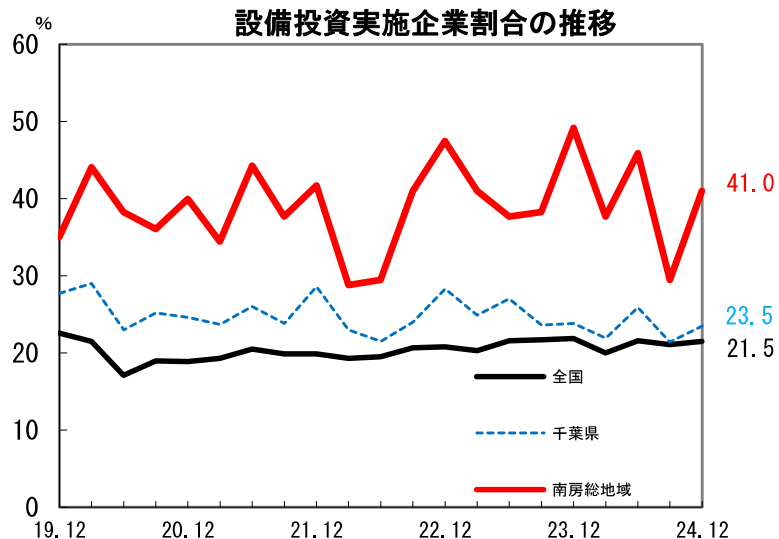


(南房総)
設備投資は上昇

全国の設備投資実施企業
割合は21.5%と前期比0.4ポ
イント増加となった。

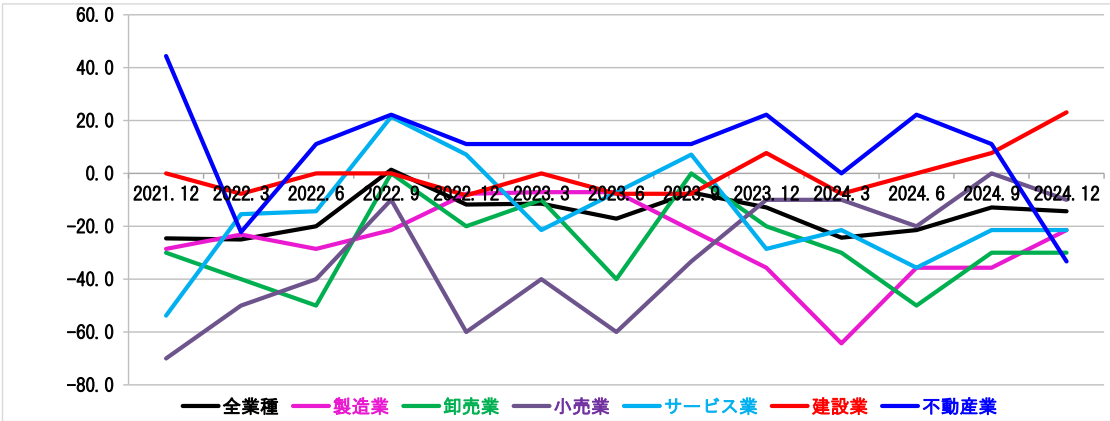
南房総地域では41.0%と前
期比11.5ポイント上昇し、高
水準を維持している。

※設備投資実施企業割合(設備投
資を実施した企業の割合)



主要項目時系列表

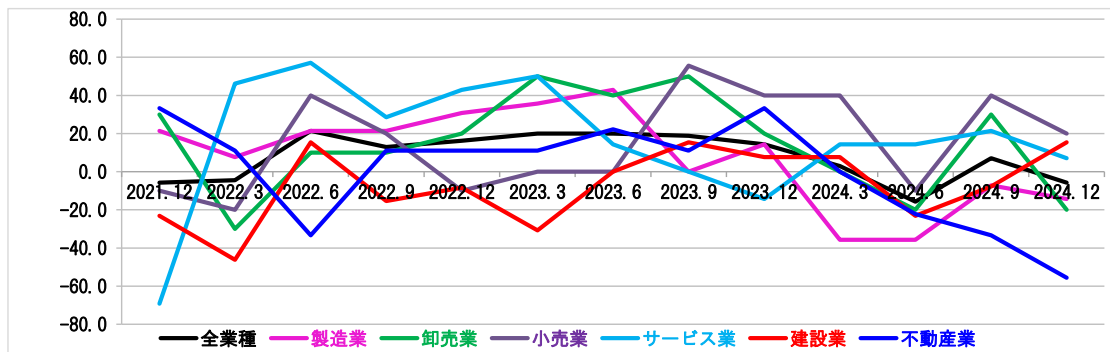
業況判断 D.I



区分	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9	2024.12	2025.3
全業種	-24.6	-25.0	-20.0	1.4	-11.8	-11.4	-17.1	-7.2	-12.9	-24.3	-21.4	-12.9	-14.3	-8.6
製造業	-26.8	-23.1	-28.6	-21.4	-7.7	-7.1	-7.1	-21.4	-35.7	-64.3	-35.7	-35.7	-21.4	-42.9
卸売業	-30.0	-40.0	-50.0	0.0	-20.0	-10.0	-40.0	0.0	-20.0	-30.0	-50.0	-30.0	-30.0	20.0
小売業	-70.0	-50.0	-40.0	-10.0	-60.0	-40.0	-60.0	-33.3	-10.0	-10.0	-20.0	0.0	-10.0	0.0
サービス業	-53.8	-15.4	-14.3	21.4	7.1	-21.4	-7.1	7.1	-28.6	-21.4	-35.7	-21.4	-21.4	-21.4
建設業	0.0	-7.7	0.0	0.0	-8.3	0.0	-7.7	-7.7	7.7	-7.7	0.0	7.7	23.1	7.7
不動産業	44.4	-22.2	11.1	22.2	11.1	11.1	11.1	11.1	22.2	0.0	22.2	11.1	-33.3	0.0

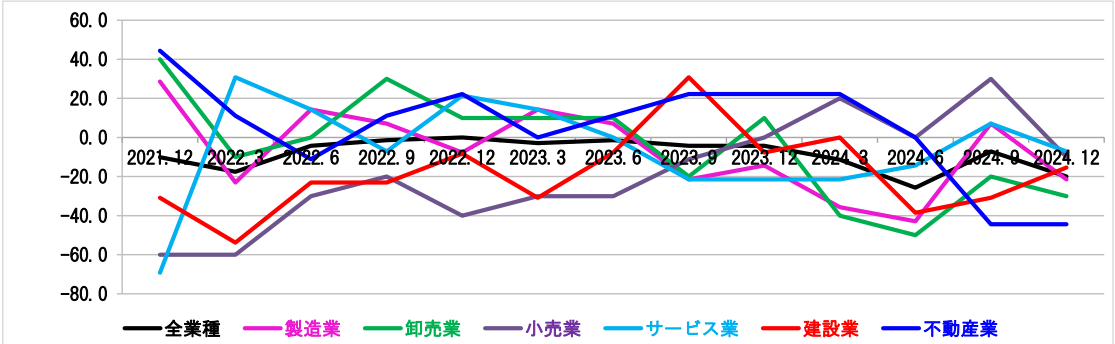
※ 2025.3は、見通しである。

売上額判断 D.I (前年同期比)



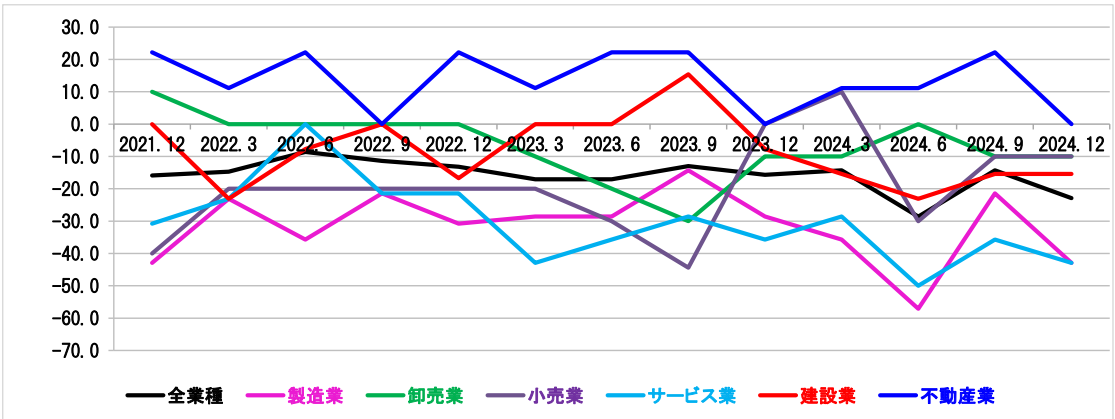
区分	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9	2024.12
全業種	-5.8	-4.4	21.4	12.9	16.2	20.0	20.0	18.8	14.3	2.9	-15.7	7.1	-5.7
製造業	21.4	7.7	21.4	21.4	30.9	35.7	42.9	0.0	14.3	-35.7	-35.7	-7.1	-14.3
卸売業	30.0	-30.0	10.0	10.0	20.0	50.0	40.0	50.0	20.0	0.0	-20.0	30.0	-20.0
小売業	-10.0	-20.0	40.0	20.0	-10.0	0.0	0.0	55.6	40.0	40.0	-10.0	40.0	20.0
サービス業	-59.2	46.2	57.1	28.6	42.9	50.0	14.3	0.0	-14.3	14.3	14.3	21.4	7.1
建設業	-23.1	-46.2	15.4	-15.4	-8.3	-30.8	0.0	15.4	7.7	7.7	-23.1	-7.7	15.4
不動産業	33.3	11.1	-33.3	11.1	11.1	11.1	22.2	11.1	33.3	0.0	-22.2	-33.3	-55.6

収益判断 D.I (前年同期比)



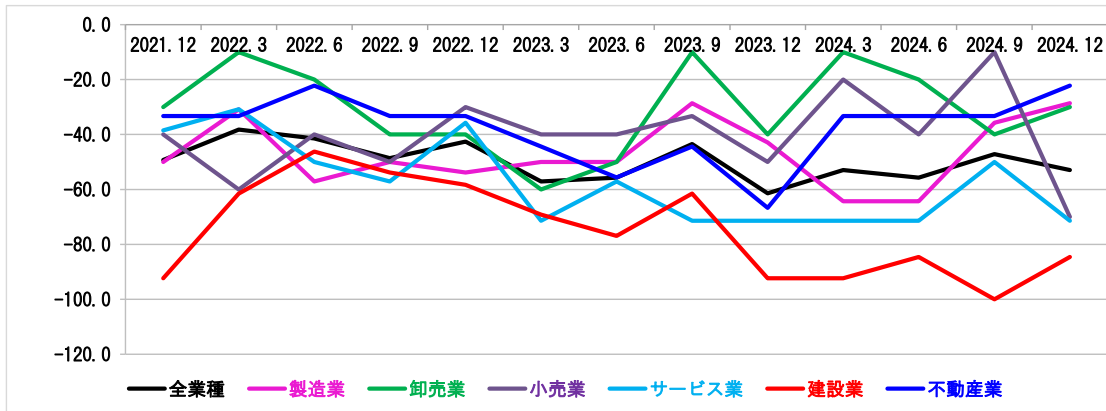
区分	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9	2024.12
全業種	-10.1	-17.6	-4.3	-1.4	0.0	-2.9	-1.4	-4.3	-4.3	-11.4	-25.7	-7.1	-20.0
製造業	28.6	-23.1	14.3	7.1	-7.7	14.3	7.1	-21.4	-14.3	-35.7	-42.9	7.1	-21.4
卸売業	40.0	-10.0	0.0	30.0	10.0	10.0	10.0	-20.0	10.0	-40.0	-50.0	-20.0	-30.0
小売業	-60.0	-60.0	-30.0	-20.0	-40.0	-30.0	-30.0	-11.1	0.0	20.0	0.0	30.0	-10.0
サービス業	-59.2	30.8	14.3	-7.1	21.4	14.3	0.0	-21.4	-21.4	-21.4	-14.3	7.1	-7.1
建設業	-30.8	-53.8	-23.1	-23.1	-8.3	-30.8	-7.7	30.8	-7.7	0.0	-38.5	-30.8	-15.4
不動産業	44.4	11.1	-11.1	11.1	22.2	0.0	11.1	22.2	22.2	22.2	0.0	-44.4	-44.4

資金繰り判断 D.I (楽-苦)



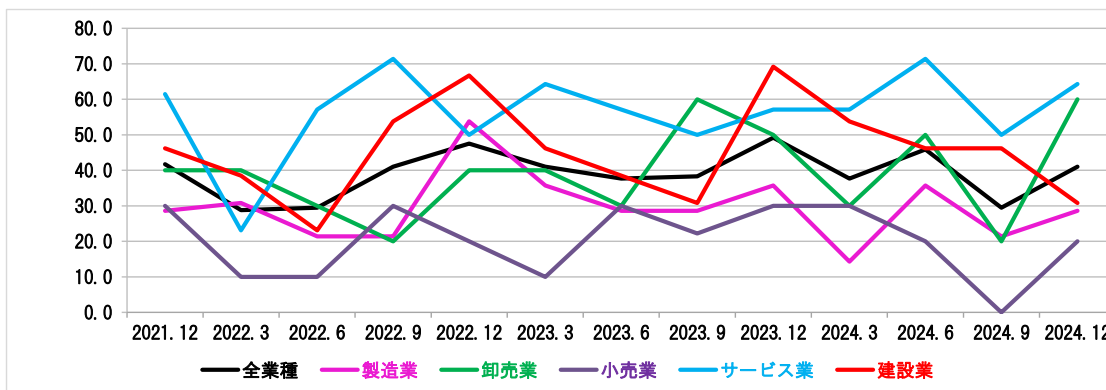
区分	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9	2024.12
全業種	-15.9	-14.7	-8.6	-11.4	-13.2	-17.1	-17.1	-13.0	-15.7	-14.3	-28.6	-14.3	-22.9
製造業	-42.9	-23.1	-35.7	-21.4	-30.8	-28.6	-28.6	-14.3	-28.6	-35.7	-57.1	-21.4	-42.9
卸売業	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-10.0	-20.0	-30.0	-10.0	-10.0	0.0	-10.0	-10.0
小売業	-40.0	-20.0	-20.0	-20.0	-20.0	-20.0	-30.0	-44.4	0.0	10.0	-30.0	-10.0	-10.0
サービス業	-30.8	-23.1	0.0	-21.4	-21.4	-42.9	-35.7	-28.6	-35.7	-28.6	-50.0	-35.7	-42.9
建設業	0.0	23.1	-7.7	0.0	-16.7	0.0	0.0	15.4	-7.7	-15.4	-23.1	-15.4	-15.4
不動産業	22.2	11.1	22.2	0.0	22.2	11.1	22.2	22.2	0.0	11.1	11.1	22.2	0.0

人手不足判断 D.I (過剰-不足)



区分	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9	2024.12
全業種	-49.3	-38.2	-41.4	-48.6	-42.6	-57.1	-55.7	-43.5	-61.4	-52.9	-55.7	-47.1	-52.9
製造業	-50.0	-30.8	-57.1	-50.0	-53.8	-50.0	-50.0	-28.6	-42.8	-64.3	-64.3	-35.7	-28.6
卸売業	-30.0	-10.0	-20.0	-40.0	-40.0	-60.0	-50.0	-10.0	-40.0	-10.0	-20.0	-40.0	-30.0
小売業	-40.0	-60.0	-40.0	-50.0	-30.0	-40.0	-40.0	-33.3	-50.0	-20.0	-40.0	-10.0	-70.0
サービス業	-38.5	-30.8	-50.0	-57.1	-35.7	-71.4	-57.1	-71.4	-71.4	-71.4	-71.4	-50.0	-71.4
建設業	-92.3	-61.5	-46.2	-53.8	-58.3	-69.2	-76.9	-61.5	-92.3	-92.3	-84.6	-100.0	-84.6
不動産業	-33.3	-33.3	-22.2	-33.3	-33.3	-44.4	-55.6	-44.4	-66.7	-33.3	-33.3	-33.3	-22.2

設備投資実施企業割合 (%)

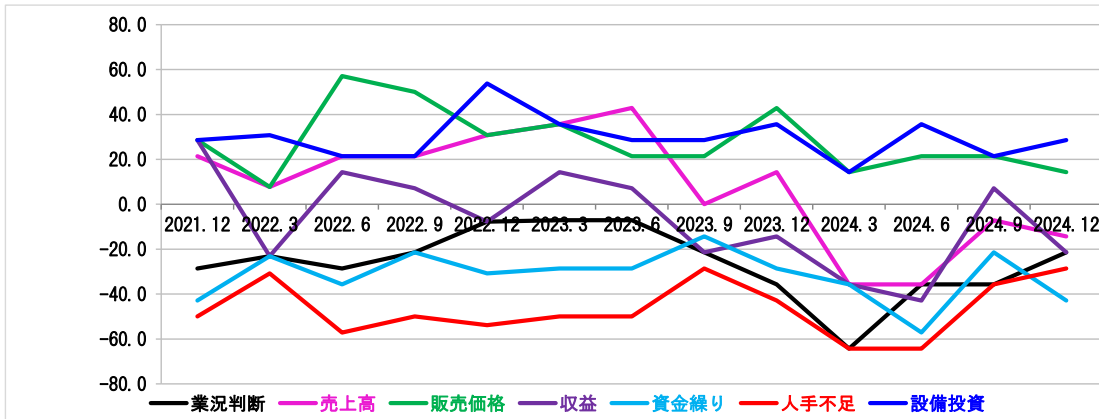


区分	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9	2024.12
全業種	41.7	28.8	29.5	41.0	47.5	41.0	37.7	38.3	49.2	37.7	45.9	29.5	41.0
製造業	28.6	30.8	21.4	21.4	53.8	35.7	28.6	28.6	35.7	14.3	35.7	21.4	28.6
卸売業	40.0	40.0	30.0	20.0	40.0	40.0	30.0	60.0	50.0	30.0	50.0	20.0	60.0
小売業	30.0	10.0	10.0	30.0	20.0	10.0	30.0	22.2	30.0	30.0	20.0	0.0	20.0
サービス業	61.5	23.1	57.1	71.4	50.0	64.3	57.1	50.0	57.1	57.1	71.4	50.0	64.3
建設業	46.2	38.5	23.1	53.8	66.7	46.2	38.5	30.8	69.2	53.8	46.2	46.2	30.8

※ 不動産業は、調査対象外である。

業種別時系列表

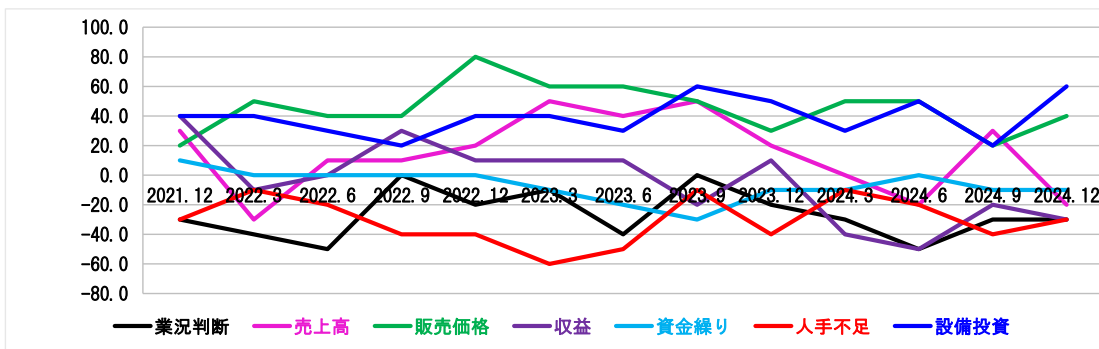
製造業



区分	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9	2024.12	2025.3
業況判断	-28.6	-23.1	-28.6	-21.4	-7.7	-7.1	-7.1	-21.4	-35.7	-64.3	-35.7	-35.7	-21.4	-42.9
売上高	21.4	7.7	21.4	21.4	30.8	35.7	42.9	0.0	14.3	-35.7	-35.7	-7.1	-14.3	
販売価格	28.6	7.7	57.1	50.0	30.8	35.7	21.4	21.4	42.9	14.3	21.4	21.4	14.3	
収益	28.6	-23.1	14.3	7.1	-7.7	14.3	7.1	-21.4	-14.3	-35.7	-42.9	7.1	-21.4	
資金繰り	-42.9	-23.1	-35.7	-21.4	-30.8	-28.6	-28.6	-14.3	-28.6	-35.7	-57.1	-21.4	-42.9	
人手不足	-50.0	-30.8	-57.1	-50.0	-53.8	-50.0	-50.0	-28.6	-42.9	-64.3	-64.3	-35.7	-28.6	
設備投資	28.6	30.8	21.4	21.4	53.8	35.7	28.6	28.6	35.7	14.3	35.7	21.4	28.6	

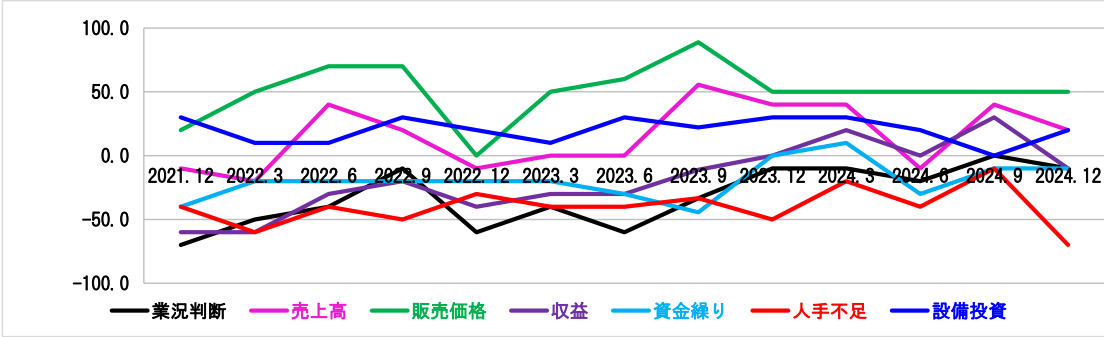
※ 2025.3は、見通しである。

卸売業



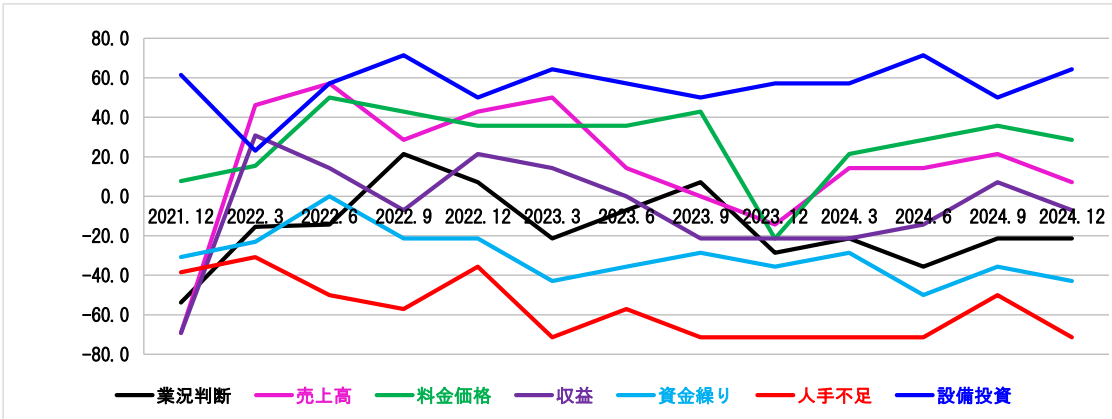
区分	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9	2024.12	2025.3
業況判断	-30.0	-40.0	-50.0	0.0	-20.0	-10.0	-40.0	0.0	-20.0	-30.0	-50.0	-30.0	-30.0	20.0
売上高	30.0	-30.0	10.0	10.0	20.0	50.0	40.0	50.0	20.0	0.0	-20.0	30.0	-20.0	
販売価格	20.0	50.0	40.0	40.0	80.0	60.0	60.0	50.0	30.0	50.0	50.0	20.0	40.0	
収益	40.0	-10.0	0.0	30.0	10.0	10.0	10.0	-20.0	10.0	-40.0	-50.0	-20.0	-30.0	
資金繰り	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-10.0	-20.0	-30.0	-10.0	-10.0	0.0	-10.0	-10.0	
人手不足	-30.0	-10.0	-20.0	-40.0	-40.0	-60.0	-50.0	-10.0	-40.0	-10.0	-20.0	-40.0	-30.0	
設備投資	40.0	40.0	30.0	20.0	40.0	40.0	30.0	60.0	50.0	30.0	50.0	20.0	60.0	

小売業



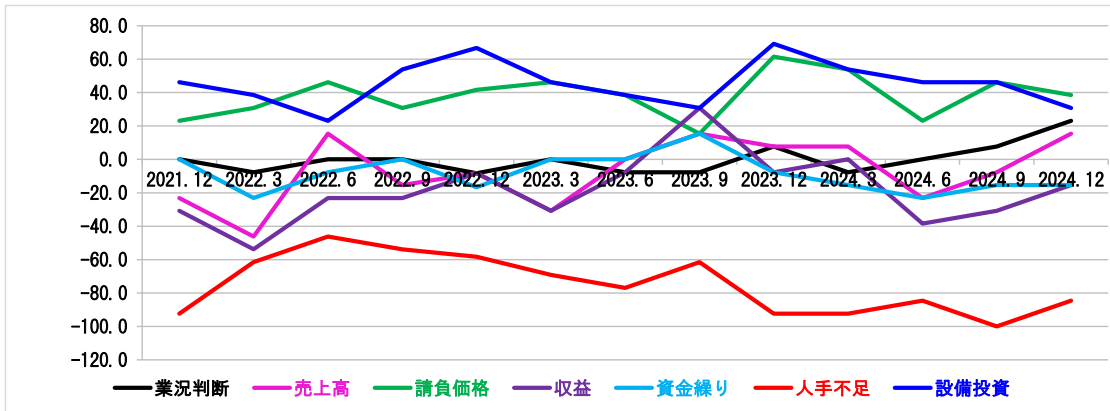
区分	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9	2024.12	2025.3
業況判断	-70.0	-50.0	-40.0	-10.0	-60.0	-40.0	-60.0	-33.3	-10.0	-10.0	-20.0	0.0	-10.0	0.0
売上高	-10.0	-20.0	40.0	20.0	-10.0	0.0	0.0	55.6	40.0	40.0	-10.0	40.0	20.0	
販売価格	20.0	50.0	70.0	70.0	0.0	50.0	60.0	88.9	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	
収益	-60.0	-60.0	-30.0	-20.0	-40.0	-30.0	-30.0	-11.1	0.0	20.0	0.0	30.0	-10.0	
資金繰り	-40.0	-20.0	-20.0	-20.0	-20.0	-20.0	-30.0	-44.4	0.0	10.0	-30.0	-10.0	-10.0	
人手不足	-40.0	-60.0	-40.0	-50.0	-30.0	-40.0	-40.0	-33.3	-50.0	-20.0	-40.0	-10.0	-70.0	
設備投資	30.0	10.0	10.0	30.0	20.0	10.0	30.0	22.2	30.0	30.0	20.0	0.0	20.0	

サービス業



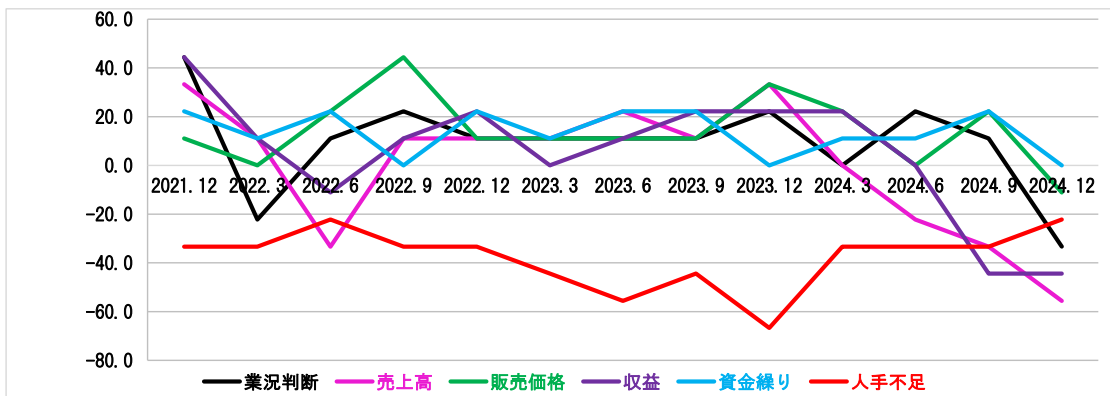
区分	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9	2024.12	2025.3
業況判断	-53.8	-15.4	-14.3	21.4	7.1	-21.4	-7.1	7.1	-28.6	-21.4	-35.7	-21.4	-21.4	-21.4
売上高	-59.2	46.2	57.1	28.6	42.9	50.0	14.3	0.0	-14.3	14.3	14.3	21.4	7.1	
料金価格	-7.7	15.4	50.0	42.9	35.7	35.7	35.7	42.9	-21.4	21.4	28.6	35.7	28.6	
収益	-59.2	30.8	14.3	-7.1	21.4	14.3	0.0	-21.4	-21.4	-21.4	-14.3	7.1	-7.1	
資金繰り	-30.8	-23.1	0.0	-21.4	-21.4	-42.9	-35.7	-28.6	-35.7	-28.6	-50.0	-35.7	-42.9	
人手不足	-38.6	-30.8	-50.0	-57.1	-35.7	-71.4	-57.1	-71.4	-71.4	-71.4	-71.4	-50.0	-71.4	
設備投資	61.5	23.1	57.1	71.4	50.0	64.3	57.1	50.0	57.1	57.1	71.4	50.0	64.3	

建設業



区分	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9	2024.12	2025.3
業況判断	0.0	-7.7	0.0	0.0	-8.3	0.0	-7.7	-7.7	7.7	-7.7	0.0	7.7	23.1	7.7
売上高	-23.1	-46.2	15.4	-15.4	-8.3	-30.8	0.0	15.4	7.7	7.7	-23.1	-7.7	15.4	
請負価格	23.1	30.8	46.2	30.8	41.7	46.2	38.5	15.4	61.5	53.8	23.1	46.2	38.5	
収益	-30.8	-53.8	-23.1	-23.1	-8.3	-30.8	-7.7	30.8	-7.7	0.0	-38.5	-30.8	-15.4	
資金繰り	0.0	-23.1	-7.7	0.0	-15.4	0.0	0.0	15.4	-7.7	-15.4	-23.1	-15.4	15.4	
人手不足	-92.3	-61.5	-46.2	-53.8	-58.3	-69.2	-76.9	-61.5	-92.3	-92.3	-84.6	-100.0	-84.6	
設備投資	46.2	38.5	23.1	53.8	66.7	46.2	38.5	30.8	69.2	53.8	46.2	46.2	30.8	

不動産業



区分	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9	2024.12	2025.3
業況判断	44.4	-22.2	11.1	22.2	11.1	11.1	11.1	11.1	22.2	0.0	22.2	11.1	-33.3	0.0
売上高	33.3	11.1	-33.3	11.1	11.1	11.1	22.2	11.1	33.3	0.0	-22.2	-33.3	-55.6	
販売価格	11.1	0.0	22.2	44.4	11.1	11.1	11.1	11.1	33.3	22.2	0.0	22.2	-11.1	
収益	44.4	11.1	-11.1	11.1	22.2	0.0	11.1	22.2	22.2	22.2	0.0	-44.4	-44.4	
資金繰り	22.2	11.1	22.2	0.0	22.2	11.1	22.2	22.2	0.0	11.1	11.1	22.2	0.0	
人手不足	-33.3	-33.3	-22.2	-33.3	-33.3	-44.4	-55.6	-44.4	-66.7	-33.3	-33.3	-33.3	-22.2	

※ 設備投資は、調査対象外である。

たてしん中小企業景況レポート No. 28 特徴等

(令和6年(2024年)10月~12月)

◆業況判断D. I. ◆

業況判断D. I. を見ると、全国では前期比3.0ポイント上昇の△2.6、千葉県では前期比1.6ポイント上昇の△5.6、南房総地域においては前期比1.4ポイント低下の△14.3となり、**南房総地域のみ低下、全国・千葉県で上昇**となりました。

今回の調査は12月上旬に実施し、新内閣発足から初の調査となりました。結果としては、南房総地域のみ低下、水準は依然として全国・千葉県より低く、長引く物価高や人手不足の影響が懸念されます。

次期の予想業況判断D. I. を見ると、全国△7.8(今期比△5.2)、千葉県△6.9(今期比△1.3)、南房総地域△8.6(今期比+5.7)と、**全国・千葉県で低下、南房総地域のみ上昇**が見込まれています。

◆南房総地域の業況判断D. I. (前期比)◆

南房総地域の業況判断D. I. の業種別では、小売業△10.0(前期比△10.0)、不動産業△33.3(前期比△44.4)と**6業種中2業種が低下**となりました。一方、卸売業△30.0(前期比±0.0)、サービス業△21.4(前期比±0.0)と横這い、製造業△21.4(前期比+14.3)、建設業23.1(前期比+15.4)と上昇しました。

◆南房総地域の次期の見込み◆

次期については、**業種別では卸売業、小売業、不動産業が改善を見込んでいる一方、製造業と建設業で低下**を見込んでいます。特に製造業△42.9の水準が低く、要因としては、引き続き仕入価格・原材料価格の高騰や長引く人手不足の影響が懸念されます。

◆売上額判断D. I. (前年同期比・南房総地域)◆

南房総地域の売上額判断D. I. はマイナスとなりました。業種別で見ると、**小売業、サービス業、建設業の3業種でプラス**の水準となり、**製造業、卸売業、不動産業においてマイナス**の水準となりました。製造業と卸売業の販売価格はプラス水準となっており、原材料価格・仕入れ価格の高騰や人件費の増加に伴い販売価格への転嫁は行っているものの、売上額はマイナスとなっていることから、物価上昇に伴う節約志向等により販売量については減少しているものと推測されます。

◆収益判断D. I. (前年同期比・南房総地域)◆

南房総地域の収益判断D. I. は、△20.0となりました。業種別で見ると、**全ての業種でマイナス水準**となりました。特に卸売業では△30.0と前年同期比大幅なマイナスとなっており、仕入価格の高騰や天候不順、人手不足の影響等により収益を圧迫したものと推測されます。また、近年好調であった不動産業については、△44.4と前回同様に前年同期比大幅なマイナスとなっており、リゾート向け等の立地条件の良い物件が一巡したことにより、販売機会の減少に繋がっていると推測されます。

◆資金繰り判断D. I. (南房総地域)◆

資金繰り判断D. I. を業種別で見ると、**製造業△42.9(前期比△21.5)、サービス業**

△42.9（前期比△7.2）、不動産業0.0（前期比△22.2）と3業種で低下となりました。

その他、卸売業△10.0（前期比±0.0）、小売業△10.0（前期比±0.0）、建設業△15.4（前期比±0.0）と横這いながら、引き続きマイナスの水準となりました。なお、**全業種の水準は△22.9と全国△6.9、千葉県△8.9**を依然として下回っています。

◆人手過不足判断D.I.（南房総地域）・設備投資実施企業割合（南房総地域）◆

人手過不足判断D.I.を見ると、全国・千葉県に比べて依然として低水準で推移する中で今期は△52.9（前期比△5.8）と人手不足感はさらに強まりました。業種別では**全ての業種でマイナスの水準**となっていますが、特に小売業△70.0（前期比△60.0）の落ち込みが大きく、新規開店等による人手の需要増加等が要因であると推測されます。また、前回調査で最大の人手不足感となった建設業は△84.6（前期比+15.4）と依然として低水準を維持しています。

一方、設備投資実施企業割合は41.0%（前期比+11.5）と全国・千葉県に比べて引き続き高水準を維持しています。業種別では卸売業とサービス業が高くなっており、老朽化した**設備**の入替や事務機器の購入が多く見られました。

◆特別調査「2025年（令和7年）の経営見通し」について◆

また、特別調査「2025年（令和7年）の経営見通し」についての特別調査もおこなわれた。

「自社の業況見通し」については、南房総では「非常に良い」・「良い」が全くなく、「良い」—「悪い」で見ると、全国△20.7、南房総△44.3となりました。1年前の同調査（全国△17.3、南房総△28.5）より、全国・南房総ともに低下となりました。

「自社の業況が上向く転換点」については、南房総地域では「2年後」・「3年後」と回答した中小企業が全国よりも多くなっており、全国よりも上向く転換点が遅い見通しとなりました。加えて、4割弱の中小企業が「業況改善の見通しなし」と回答しました。

「2025年の自社の売上額の伸び率見通し」については、「増加」—「減少」で見ると、全国は11.6となり、増加の見通しが減少の見通しを上回る結果となりました。一方で、南房総は△16.0となり、増加の見通しが減少の見通しを下回る結果となりました。

「脱炭素化に向けて信用金庫業界に対して期待する取組み」については、全国・南房総ともに「事例の紹介」が最も多く、次いで「行政からの支援内容の紹介」、「設備導入支援」が続きました。なお、「特になし」が約4割という結果となりました。

また、「信用金庫業界が地域のために積極的に脱炭素化への取組みを行っていることを知っているか」については、全国・南房総地域ともに「知らない」が約7割を超える結果となりました。

当金庫では、企業のエネルギーコストの削減や、CO2排出量削減への取組みを総合的にサポートするサービスプラットフォーム『e-dash』と提携しています。エネルギー関連の請求書をWEB上でアップロードすることで、国際基準に準拠したCO2排出量を算出することが可能です。関心のある方は当金庫営業店にお声掛けください。

※本景況レポートは、当金庫営業店ロビーの金利表示ボード画面及び房日新聞電子版（QRコード掲載）にて動画による解説を行っております。

2025年(令和7年)の経営見通し ※抜粋

2025年の自社の業況見通し				自社の業況が上向く転換点			
項目	全国	南房総	「自社の業況見通し」については、南房総では「非常に良い」「良い」が全くなく、「良い」「悪い」でみると、全国△20.7、南房総△44.3となった。1年前の同調査(全国△17.3、南房総△28.5)と比べて、全国、南房総ともに低下となった。	項目	全国	南房総	「自社の業況が上向く転換点」については、南房総では「2年後」、「3年後」と回答した中小企業が全国よりも多くなり、全国よりも上向く転換点が遅い見通しとなった。加えて、4割弱の中小企業が「業況改善の見通しなし」と回答した。
非常に良い	0.3%	0.0%		すでに上向いている	19.3%	7.5%	
良い	2.2%	0.0%		6ヶ月以内	9.4%	7.5%	
やや良い	11.6%	5.7%		1年後	17.7%	14.9%	
普通	51.1%	44.3%		2年後	10.9%	11.9%	
やや悪い	27.9%	41.4%		3年後	10.0%	13.4%	
悪い	6.0%	5.7%		3年超	7.2%	7.5%	
非常に悪い	0.9%	2.9%		業況改善の見通しなし	25.4%	37.3%	

※良い:「非常に良い」「良い」「やや良い」 悪い:「やや悪い」「悪い」「非常に悪い」

2025年の自社の売上額の伸び率見通し						
項目	全国	南房総	項目	全国	南房総	「自社の売上額の伸び率見通し」については、「増加」-「減少」で見ると、全国は11.6となり、増加の見通しが減少の見通しを上回る結果となった。一方で、南房総は△16.0となり、増加の見通しが減少の見通しを下回る結果となった。
30%以上 増加	0.9%	0.0%	10%未満 減少	15.1%	23.2%	
10~29% 増加	10.0%	5.8%	10~29% 減少	5.9%	14.5%	
10%未満 増加	22.8%	18.8%	30%以上 減少	1.1%	2.9%	
変わらない	44.2%	34.8%				

脱炭素化への取組み				
項目		全国	南房総	脱炭素化に向けて信用金庫業界に対して期待する取組みについては、全国・南房総ともに「事例の紹介」が最も多く、次いで「行政からの支援内容の紹介」、「設備導入支援」が続いた。 なお、「特になし」が約4割という結果となった。 また、信用金庫業界が地域のために積極的に脱炭素化への取組みを行っていることを知っているかについては、全国・南房総ともに「知らない」が7割を超える結果となった。
信用金庫業界に期待する取組み	事例の紹介	21.2%	28.6%	
	行政からの支援内容の紹介	16.9%	17.4%	
	CO2排出量の算出	2.1%	3.2%	
	省エネ診断	2.9%	0.0%	
	削減計画の策定	3.3%	0.0%	
	設備導入支援	12.4%	14.3%	
	サステナブルファイナンス	2.2%	0.0%	
	特になし	39.0%	36.5%	
信用金庫業界の取組状況	知っている	27.5%	24.6%	
	知らない	72.5%	75.4%	

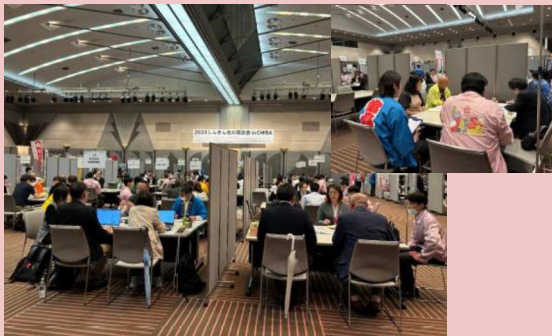
<調査の概要>

- ①調査時点: 令和6年(2024年)12月2日~6日
- ②調査方法: 当金庫による面接聞き取り方式、または対象企業先による直接記入方式。
なお、全国および千葉県は信金中央金庫地域・中小企業研究所の調査による。
- ③分析方法: 各質問項目で「増加」(上昇)したとする企業が全体に占める構成比と「減少」(下降)したとする企業の構成比との差(D.I.)を中心に分析。
- ④調査地域: 当金庫の調査地域(南房総地域)は、千葉県館山市、南房総市、鴨川市、鋸南町の3市1町。
- ⑤対象企業: 全国の信用金庫の取引先で、特に回答企業のうち従業員20名未満の企業が7割を占めるなど、比較的小規模な企業が主体。
- ⑥標本数: 全国14,728企業(有効回答数12,984企業・回答率88.2%)
千葉県323企業(有効回答数303企業・回答率93.8%)
南房総地域 70企業(有効回答数70企業・回答率100%)

本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。したがって、投資等についてはご自身の判断によってください。また、本レポート掲載資料は、当金庫が信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当金庫が正確性および完全性を保証するものではありません。

「たてしん」近況のご報告

県内5信金による取引先の販路拡大支援 しんきん食の商談会を実施



10月8日、千葉県内5信用金庫（館山・千葉・東京ベイ・銚子・佐原）共催で、千葉市の幕張メッセ国際会議場にて、「2024年しんきん食の商談会」を開催しました。

本取組みは、地元中小企業者の販路拡大支援を目的に開催しており、今年で11回目となります。今回は89社が出展し、農水産物や加工品などをバイヤー企業46社に売り込みました。

当金庫の紹介による参加は、出展者10社、バイヤー2社で、信金職員のサポートなどもあり、満足度は非常に高い結果となりました。

被災地復興の願い込めた日本酒「絆舞」 仕込み式に参加



10月19日、全国47都道府県の米を使ってつくる日本酒「絆舞」の仕込み式が福島県会津坂下町の曙酒造で開催され、当金庫も出席しました。

全国253の信用金庫が協賛し、東日本大震災や能登半島地震の被災地応援の取り組みで2017年から行われており、売り上げ1本につき100円が被災自治体などに寄付されます。

館山市・南房総市・鴨川市など全国260地域の米が使用されています。

完成したお酒は、12月3日と4日に東京で開催された「よい仕事おこしフェア」の開会式で盛大な鏡開きが行われました。

第5回創業者交流会in南房総を開催



10月24日、当金庫と日本政策金融公庫館山支店による「第5回創業者交流会in南房総」が開催され、南房総地域の創業間もない事業者、創業予定者など19人が参加しました。

同じステージにある仲間との交流を通じ、課題や悩みを共有し、問題解決のヒントを得てもらおうと毎年開催しています。

第1部では、川合淳一税理士事務所の川合淳一氏が「税理士&農業2回の事業承継の実体験から見た『事業に必要な税務知識と資金繰り』」というテーマで講義があり、第2部の名刺交換会では参加者同士が活発に交流した他、県税理士会や県中小企業診断士協会の担当者による個別相談会も行われました。

たてしん経営者会 リーダーシップに関する勉強会を開催



11月1日、たてしん経営者会は「マネージャータイプの経営者とリーダータイプの経営者 一体どちらが成功するの？」と題した勉強会を実施し、会員14名を含む計18名が参加しました。

今回のセミナーでは、南総学舎 学舎長・早稲田大学名誉教授の大滝令嗣氏を講師に招き、経営者タイプの分析や海外の事例の紹介、実際に参加者自身の一週間の行動を分析し、グループディスカッションを行うなど、リーダーとマネージャーの違いを認識すると共に、経営者としてのリーダーシップについて学びました。

君津支店職員2名が 電話de詐欺を防止



11月21日、当金庫君津支店の職員2名が電話de詐欺被害を未然に防いだとして君津警察署から感謝状を頂きました。

10月25日、80代の男性が携帯電話で通話しながら来店し、振り込もうとしました。不審に思った職員が会話内容をチェック、もう1人の職員が警察に通報し、2人の連携で被害を防ぐことが出来ました。

千葉県内の電話de詐欺被害は依然として多くの被害が発生しています。また、最近ではSNSを悪用した被害も急増しております。不審な電話等ありましたら、必ずご家族や最寄りの警察署等へご相談ください。

全国の信用金庫が連携した 「よい仕事おこしフェア」に参加



写真はよい仕事おこしフェアの開会式での「絆舞」鏡開き

12月3日・4日、東京ビッグサイトで全国の信用金庫で組織した実行委員会が主催する大規模商談会イベント「2024“よい仕事おこしフェア”」が開催され当金庫も参加しました。同フェアは、今回で12回目の開催となり、中小企業の自社製品、サービスのPRや販路拡大、地域経済の活性化につなげることを目的としたイベントです。今回は、全国の製造業や食品会社などの中小企業を中心に団体や自治体などが過去最多の530集まり、安房地域からは当金庫経由でものづくりエリアと食品エリアに各1社ずつ出展しました。

また、開会式には「よい仕事おこしフェア実行委員会」と包括連携協定を結んだ館山市から森市長も参加しました。

移住事業者特集



たてしんでは、移住・創業のお手伝いにも力を入れています。
この特集では、移住して南房総で事業を行う個性的な事業者を紹介します。

安藤 壮さん 白浜豆腐工房 SUNAO Retreat 奥白浜

【平成28(2016)年移住／平成28(2016)年創業】

移住・創業のきっかけ

出身は山梨県で、2011年の震災をきっかけに循環型のレストランをやりたいと思い、インドのエコビレッジなどを勉強しに海外へ。2015年に帰国し、偶然求人があった南房総市白浜エリアのホテルに料理人として住み込みで働き始めました。白浜の根本海岸に一目惚れして、結婚と妊娠を機に、夫婦で完全移住。「白浜豆腐工房」として手作り豆腐とおから加工品の製造販売をはじめました。

また、妻が主体となり、リトリート施設の物件探しや事業の立ち上げを行い、2021年に「SUNAO Retreat 奥白浜」を現在の場所でオープンすることになりました。



事業内容

白浜豆腐工房では、生のままの有機大豆とにがりだけで生絞りの豆腐を作っています。大量生産できないこの製法の豆腐は現在ではごくわずかです。イベント出店や道の駅 鄙の里の「土のめぐみ館」で販売しています。また、おからを使ったグラノーラやドーナツなども好評です。

リトリート施設では、1日1組限定で、日常から離れた非日常でリラックスして宿泊してもらえるよう、できたての豆腐料理を中心とした身体にやさしい夕食と朝食の提供、ヨガやSUP、里山散歩などのアクティビティを提供しています。

住所：南房総市白浜
町白浜9088-1



今後の展望

現在、白浜豆腐工房としては店舗を持っていませんが、今後はリトリート施設の敷地内での飲食提供を考えています。また、高齢化の進む白浜地域を活性化させ、地域が元気に持続していくための取り組みもすすめたいので、その際には、たてしんにも相談したいと思っています。

宮阪 有里子さん body treatment salon mana'olana CAFE&DINING BAR SUNRISE SHELL

【平成26(2014)年移住／平成27(2015)年創業】

移住・創業のきっかけ

埼玉県出身ですが、サーフィンが趣味で海が好きだったので、海の近くに住みたいと2014年に家族4人で移住しました。物件が見つかった富浦エリアに住んで、私はホテルでマッサージの仕事を始めました。やがて、時間を自由に使える自宅サロンを考えるようになり、2015年にコンテナを使ってサロン「mana'olana」を開業。その後、現在の物件を紹介してもらい、コンテナごと移りました。敷地が広くちょうどよい建物があつたので、2019年に貸別荘、2024年7月にカフェバーをオープンしました。

事業内容

現在、私がサロンと貸別荘を、調理を勉強した娘がカフェバーをメインに運営しています。施設の管理やリフォームは内装職人である夫が手掛け、全体的には家族でそれぞれのスキルを持ち寄って運営している感じですね。リフォーム資金などは再構築補助金を利用し、その際はたてしんに親身になってサポートいただき、大変助かりました。



住所：南房総市白子820-1



mana'olana



SUNRISE SHELL

今後の展望

今後は、地域の方にもっとサロンやカフェを知ってもらい、ご利用いただければと思います。SNSやイベントなどでの宣伝を積極的に行いたいと思っています。